

佐賀県知事 様

住 所 佐賀市西与賀町厘外964-3  
団 体 名 一般社団法人文化芸術の泉アールフォンテヌ  
代表者職・氏名 代表理事古川久美子

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による  
寄附金活用実績報告書

令和2年 年5月5日付け県協第270号及び令和2年8月17日県協第936号及び令和2年11月2日付け県協第1452号及び令和3年2月4日付け県協2075号により寄附金交付決定通知のあった佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第6号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第6号 別紙2）

## 年度寄附金活用実績報告書

事業名	小城鍋島家活用事業	
寄附受入額	1278250	円
事業内容 (いつ、どこで、誰が、何を、どのように実施したのかについて記載)		
<p>1. 鍋島家カフェ・ギャラリー事業</p> <p>■期間：2020年4月～2021年3月</p> <p>■場所：小城鍋島家</p> <p>■事業の対象：小城鍋島家への来館者</p> <p>■事業の要旨：来館者を増やすための仕掛けイベントの開催（着物や抹茶体験型）</p> <p>佐賀県地域交流部交通政策課鉄道活用推進主催の「体験開発塾」へ3か月の研修に参加し、「アソビュー」というインターネットにて体験型を募集するサイトに掲載する。</p> <p>そのサイトからも体験に参加者あり。またモニターツアーの方に体験して頂き、SNSで拡散してもらった。</p> <p>2. 小城鍋島家に残る文化財の修復事業</p> <p>■期間：2020年4月～2021年3月</p> <p>■場所：小城鍋島家</p> <p>■実施主体：額装屋</p> <p>■事業の要旨：掛軸等の修復</p> <p>掛軸の表装をおこなった。</p> <p>3. 地域資源を使った商品開発事業</p> <p>■期間：2020年4月～2021年3月</p> <p>■場所：小城鍋島家</p> <p>■実施主体：地元の事業者</p> <p>■事業の要旨：地元の豆腐屋が廃棄処分しているおからを使った商品開発</p> <p>江頭豆腐のおからと古賀冷凍食品さんとコラボで商品開発して商品できた。簡易なパッケージプラザも完成した。</p>		
事業実施の成果・効果 (見込み)		
<p>○小城鍋島家は、小城市を訪ねる日本人観光客・海外観光客に、見て、触れて、お買い物できる場としての活用が期待できる。今はコロナで海外の観光客は来ないが日本在住の海外の方が来られて日本文化を楽しんでいた。</p> <p>○ 小城鍋島家に残存する掛軸を表装し直して、来館者に展示する。</p> <p>○ 「もったいないプロジェクト」第三弾として加工することにより、産業廃棄物となっているおからの付加価値を向上させる。地元事業者である「古賀冷凍食品」と連携し冷凍技術を導入し、経済効果も期待できる。今後商談会に出てバイヤーとの交渉に入る。</p>		

(様式第6号 別紙2)

収 支 決 算 書

事業名		小城鍋島家活用事業	
区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	1.278.250	第1回：90250円
			第2回：63000円
			第3回：94500円
			第4回：1030500円
	カフェ・ギャラリー事業	6.516.692	
	参加費	1.4000	
	収入計	7.808.942	
支 出	謝金	370.259	着付け、抹茶体験指導、レシピ開発費
	旅費	102.624	
	印刷製本費	179.018	
	消耗品費	597.859	
	使用料・賃借料	312.737	家賃、コピー機
	スタッフ賃金	2.631.131	
	カフェ事業に係る費用	2.901.330	材料費、水道光熱費
	返礼品等の調達に係る費用	423.504	ロット販売のため、予め将来の返礼品分も購入しなければならないため
	返礼品等の送付に係る費用	43.450	
	広報に係る費用	4.160	
	事務に係る費用	242.870	SBC事業委託費用
	支出計	7.808.942	

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。

経理上の区分名で記載して構いません。

○領収書等は事業終了後5年間保存してください。